

令和4年度事業計画

1. 基本方針

日本経済の見通しについては、いまだ予断を許さない状況にあるといえます。

国内外で始まった新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進むにつれて感染拡大のリスクが低下し、経済活動の正常化が進むことを想定していましたが、感染力の強い変異株が流行し、今後においても、感染対策が必要とされ、社会経済活動は一定の制約を受け続けるものと思われれます。

こうした厳しい状況の中において、人生100年時代における「誰もが生涯現役で活躍できる社会」の実現が求められ高齢者への就労支援や生きがいの充実、社会参加の促進の拠点として、シルバー人材センターに期待される役割は益々大きくなっています。

こうした状況の中、一宮市シルバー人材センターは、「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき、会員の自主的な活動により就業機会の拡大に努め、健康で働く意欲のある高齢者であれば、いつでもシルバー事業に参加できる環境を整備し、基本目標「安心・安全、親切・丁寧」をさらに高め、市民の多様なニーズに応えなければなりません。

さらには、「中期計画」に基づき、「会員の増強」、「就業開拓」、「適正就業」、「安全就業の推進」、「研修・講習会の充実」、「財政基盤の確立」、「独自事業の推進」、「組織の確立」、「事務の効率化」などの恒常的な課題を、会員、役員及び事務局が一丸となって推し進め、実施計画の遂行と充実強化を図っていく必要があります。

こうした考えを基に、一宮市及び愛知県シルバー人材センター連合会を始めとする諸団体と連携を図りながら、次の事業に取り組むことといたします。

2. 実施計画

令和4年度 数値目標

項目	数値目標
会員数	1,250人（男；800人 女；450人）
就業率	97.0%
受注件数	12,600件
配分金額	464,000,000円
契約金額	554,000,000円

① 公益社団法人としての健全な運営

シルバー事業は、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に設置されております。公益社団法人としてのコンプライアンスの徹底と確実な運営が求められる中、愛知県及び愛知県シルバー人材センター連合会との情報交換及び指導のもと透明性のある事業を展開します。

② 普及啓発活動の推進

会員のボランティア活動や「口コミPR活動」を推進します。また、市広報「広報一宮」への記事掲載、公共施設等にパンフレットの配布等を実施します。日刊紙等へは、活動状況についての資料提供や、記事の掲載依頼等を積極的に行い、マスメディアを活用したPRにも努めます。加えて、「ウェブサイト」及び会報「シルバーいちのみや」により、地域の人たちへの周知を図ってまいります。

さらに、一宮市教育委員会の協力を得て、連区の公民館行事(文化展等)において啓発活動を展開します。

③ 会員の増強

市広報や会員相互の口コミ、市内各町内会へのチラシの回覧、ハローワークでのチラシ配布やウェブサイト等により入会促進を図り、事業の発展・拡充に努めます。特に、60歳台後半層及び女性会員の入会促進に努めます。

引き続き、郵便局内の液晶モニターを媒体として、年間を通して会員募集広告を掲載し、新聞に会員募集の折り込み広告を行います。

就業を希望して入会する者に対して、毎月第3水曜日に開催していた新入会員研修会を入会説明会と改め毎週水曜日に開催し、速やかに就業できる環境を整えます。

④ 就業機会の開拓と確保

ウェブサイト、市広報やマスメディアを積極的に活用して、一般家庭・公共団体・民間事業所等の請負・委任の事業拡大に努めるとともに、労働者派遣事業についても仕事を提供していただけるよう働きかけます。また、会員の方々にも就業に関する情報提供のご協力を引き続きお願いし、会員の就業機会の拡大に努めます。加えて、継続業務を希望する会員を対象に就業相談を毎月開催し、就業機会適正基準による公平な就業機会の確保を徹底することにより、未就業会員の減少を図り就業率の向上に努めます。

⑤ 安全就業の徹底

事故ゼロを目指し、安全標語の募集や会報「シルバーいちのみや」等を通じ、安全がすべてに優先することを会員一人ひとりの意識改革の徹底を図ります。そして、本年度も『安心・安全、親切・丁寧』を基本目標に掲げ、安全就業を実践します。また、安全就業委員会では、安全就業推進員を中心に安全就業巡回パトロールを定期的実施するとともに、健康管理や交通安全等の講習会など事故防止対策を積極的に推進します。

また、会員の体験(重大な災害や事故には至らなかったものの、ひやりとしたり、はっとしたりしたこと(通称「ヒヤリ・ハット」))を通年募集し、それを会報紙により周知し、事故の発生を未然に防止します。

⑥ 組織の確立・見直し

シルバー事業の健全な発展と円滑な推進を図るため、地域班、職群班の育成強化に努めます。その他、事務局主導型から会員主導型による運営の方策を検討し、事務局体制等組織のあり方についても検討を進めます。

⑦ 財政基盤の確立

国や市の財政状況が厳しい中、国庫補助対象の高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進など、財政基盤の安定に努めます。また、事務事業の見直しなどによりさらに経費削減に努めます。

⑧ 技能講習等研修会の開催

会員の資質向上や技術の向上のための各種研修会を会員全体及び職種別に開催し、市民に親しまれ信頼される会員を育成します。また、減少傾向にある剪定会員増加のための研修会を開催します。

⑨ 福祉・家事援助サービス事業の確保

高齢化・核家族化が進む地域社会に対応するため、福祉・家事援助サービス事業のコーディネーターを配置し、会員の能力を高めるための研修や講習会を実施します。また、関係機関との連携・調整を図って仕事の確保に努めます。

⑩ ボランティア活動の実施

地域班、職群班の組織を中心に、地域に密着した奉仕活動を通じて会員相互の交流を図り、シルバー人材センターの存在を地域に示すなど、事業啓発を図ります。

⑪ 独自事業の推進

「シルバー本町ふれあい広場」を主な活動拠点として、会員が持っている技能・特技など創意工夫を生かした事業の推進及び拡大に努めます。

⑫ 関係機関・団体との連携強化と情報収集

全国シルバー人材センター事業協会、東海シルバー人材センター連絡協議会、愛知県シルバー人材センター連合会、尾張西ブロックシルバー人材センター、尾張西ブロック東西地区シルバー人材センター事務研究会等との連携を図り、各種情報を収集するとともに、市及び関係機関とも連携を密にして事業の発展・拡充に努めます。

⑬ 指定管理施設の管理運営と充実

指定管理者として一宮市貴船高齢者作業センター、一宮市尾西高齢者作業センター、一宮市高齢者生きがいセンター及び一宮市社会福祉センター思いやり会館を管理運営します。また、作業センター及び生きがいセンターの室内作業に適した新たな仕事の開拓に努め、安定した受注量の確保に努めます。

⑭ シルバー本町ふれあい広場の事業運営と施設管理

シルバー人材センターの情報発信の拠点としての「シルバー本町ふれあい広場」の事業運営と施設管理を行います。

商店街を始めとしたイベント等に積極的に参加するなど事業展開を計り、シルバー事業の普及啓発を推進します。